

指導力の向上を図る。

- ② 期間・会場
 - ア 夏季休業中（3日間） 各教育事務所
 - イ 9月～11月（2日間） 授業研修協力校
 - ウ 9月～11月（3日間） 各勤務校
 - エ 冬季休業中（2日間） 各教育事務所
- ③ 参加人数
昭和52年度公立小・中・養護学校新任教員 236名

- ④ 講師
 - ・教育事務所 所長・次長・指導主事
 - ・授業研修協力校 校長・教頭・教諭
 - ・勤務校 校長・教頭・主任

- ⑤ 研修内容
 - ア 講義と演習
 - 学習指導計画の作成
 - 指導方法と教材教具の活用
 - 教育評価の方法と実際
 - イ 授業参観、授業分析
 - ウ 授業実習

(6) 公立小・中学校長地区別会議

- ① 目的
小・中学校校長（市町村立養護学校を含む）に対し学校経営上の諸問題について研修を行い、もって学校運営の適正を期する。
- ② 主催 福島県教育委員会
- ③ 期日・会場

期 日	参加 範囲	会 場
6月7日	岩瀬、石川	石川中学校
6月8日	いわき	いわき市文化センター
6月13日	安達	二本松北小学校
同 上	北会津、耶麻、両沼	会津若松市公民館
6月14日	南会津	田島合同庁舎
6月17日	相馬、双葉	原町合同庁舎
同 上	郡山、田村	郡山市公会堂
6月20日	西白河、東白川	白河合同庁舎
7月4日	福島、伊達	県庁西庁舎

- ④ 参加者 公立小・中・養護学校校長
- ⑤ 講師
県教育庁義務教育課主幹、主任管理主事、管理主事
各教育事務所長、指導課長

- ⑥ 内 容
 - ア 学校教育上の諸問題
 - イ 教職員の服務・勤務上の諸問題

(7) 公立小・中学校新採用の事務職員研修会

- ① 目的
公立小・中学校新採用の事務職員に対し、服務・勤務及び学校事務についての研修を行い、もって資質の向上を図るとともに、学校運営の適正を期する。
- ② 主催 福島県教育委員会
- ③ 期 日 7月7日～9日
- ⑤ 会 場 福島県教育センター

- ⑤ 参加者
公立小・中学校の昭和52年度採用の事務職員
- ⑥ 講師
県教育庁義務教育課長、主幹、管理主事、総務課主任
主査兼給与係長、財務課主査、主事
- ⑦ 内 容
 - ア 事務職員の職務
 - イ 教職員の服務・勤務
 - ウ 給与関係事務
 - エ 各種補助金関係

(8) 県立学校長研修会

- ① 目的
県立学校長に対し、学校管理運営上の諸問題並びに学習指導・生徒指導に関する研究を深め、管理職としての現職教育に資する。
- ② 主催 福島県教育委員会
- ③ 期 間
昭和52年5月9日(月)～11日(木)
県立学校長経験年数3年未満（ただし昭和52年度を含む）に該当する県立学校長
- ④ 研修内容
 - ア 講 演
 - (ア) 「現代と教育について」
東北大学 教授 塚本哲人
 - (イ) 「教職員の精神科疾患の実態」
(その事例を中心として)
福島県精神衛生センター
所長 上野文弥
 - (ウ) 「笑」 福島医科大学教授 塚原進
 - イ 研究協議題
(指導班)
(ア) 教職員の指導力向上のための組織と運営はどうあるべきか。
(イ) 教育相談を生かした生徒指導の体制と運営はどうあるべきか。
(ウ) 教育目標の設定とその達成のための留意点。
(エ) 学校経営上の学年経営の位置づけ（学年経営に対する指導）

(9) 県立学校教頭研修会

- ① 目的
県立学校教頭に対し、学校管理運営上の諸問題、並びに学習指導・生徒指導に関する研究を深め、管理職としての現職教育に資する。
- ② 主催 福島県教育委員会
- ③ 期 間 昭和52年5月16日(月)～18日(水)
- 会 場 福島県教育センター
- ④ 参加者